

聖泉看護学研究 執筆要項

1. 原稿構成

- 1) 投稿原稿の構成は原則として以下の通りとする。
 - (1) 表紙:上半分に, 表題, 英文表題, 著者名(ローマ字表記もつける), 所属機関名, 本文, 図, 表および写真等の枚数, キーワード(日本語・英語小文字をそれぞれ6語以内)を, 下半分には希望する原稿の種類, 別刷必要部数, 編集委員会への連絡事項および執筆者の氏名, 所属, メールアドレスを付記した表紙1部.
 - (2) 抄録:研究の「背景」, 「目的」, 「方法」, 「結果」, 「考察」, 「結論」に分け, 見出しをつけて記述すること.
抄録は400字程度とする(原著, 研究ノートの場合は250words 前後の英文抄録を付記すること).
 - (3) 論文内容
 - I. 緒言: 研究の背景・目的
 - II. 方法: 研究, 調査, 実験, 解析に関する手法の記述, および資料・材料の集め方など
 - III. 結果: 研究等の結果・成績
 - IV. 考察: 研究の考察・評価
 - V. 結論: 研究全体の結論
 - (4) 文献: 文献の記載は, 2. 10) に従う.
 - (5) 表・図・写真: 1 ページに1 点を付する.

2. 執筆要領

- 1) 原稿は原則として, ワードで作成する.
- 2) 原稿は A4 判横書きで, 明朝体(英数字は Century), 11ポイント, 1 頁1200字(40字×30行) になるように作成する.
- 3) 記述上の留意事項
 - (1) 原稿は, 原則として, 新仮名づかい, 当用漢字を使用する.
 - (2) 外国語はカタカナで, 外国人名や日本語訳が定着していない学術用語などは活字の原綴りで記述する.
 - (3) 数字は算用数字を用い, 単位符号は原則として SI 単位(kg, mg, mm, ml, kcal, °C など)を用いる.
 - (4) 小見出しの数字は, I., 1., 1), (1) の順に使用し, 本文中の句読点は「,」「.」(全角)を用いること.
- 4) 本文への補注を必要とする場合は, (1) (2) …の記号で該当箇所の右肩に示し, 「補注」として引用文献リストの前に一括して記載すること.
- 5) 国際的な共通語を使用し, 略語や符号などは一般的に認められている略語, 符号等に関しては, 初出時に簡単な説明を加える.
- 6) 表はひとつずつ A4 判用紙に配置し, 最上段左端に出現順に「表1」と番号を振り, そのあとにタイトル名を簡潔に示す.
- 7) 図および写真はひとつずつ A4 判用紙に配置し, 最下段中央に出現順に「図1」「写真1」と番号を振り, そのあとにタイトル名を簡潔に示す.
- 8) 図・表および写真は, それぞれ図1, 表1などのタイトルを付け, 本文とは別にまとめ, 本文原稿右側外にそれぞれの挿入希望位置を記載する. 写真はモノクロで印刷される.

- 9) 倫理的配慮を要する研究の記載方法は下記に従う.

例 聖泉大学の倫理委員会の承認(承認番号: 12345)を得ている.

- 10) 文献の記載方法は下記に従う.

(1) 文献は一括して補注の後に1行あけて「文献」として著者名のアルファベット順にリストアップする. 通巻頁を用いている雑誌では号数を省略することができる. なお, 雑誌名は省略しないこと. 出版年は西暦を用いる. 数字は半角を用いる. 各項の区切りは全角の「,」を用いる. 共著者3名以上の場合, 3名までを記載し「他」とする.

(2) 本文中の引用については, (著者名, 出版年)や(著者名, 出版年: 引用ページ)のかたちで表記する. 著者名は姓だけを記載する. 引用表記のカッコは全角の丸カッコ()を用いる. 数字は半角を用いる.

例 (山崎, 2008), (山崎, 2008: 30-35)

共著者がいる場合, 邦文文献の場合は著者を「,」でつなぎ, 著者が3名以上いる場合は第一著者のあとに「ら」とする. 英文文献の場合は著者が2名のときは邦文と同様に「,」でつなぎ, 著者が3名以上の場合, 第一著者のあとに「et al.」をつける.

例 (姉崎, 米林, 1982), (宮崎ら, 1985)

(Walker, Avant, 2005), (Walker et al., 2005)

- (3) 文献リスト記載方法の例示

①雑誌掲載論文

著者名(発行年次): 論文表題, 掲載雑誌名, 号もしくは巻(号), ハイフンははさみ最初と最後のページを記入.

例 日本太郎, 看護花子, 研究二郎(1998): 社会的支援が必要なハイリスク状態にある高齢入院患者の特徴, 日本看護研究学会雑誌, 2(1), 32-38.

②単行本

著者名(発行年次): 論文の表題, 編者名, 書名(版数), ページ数, 出版社名, 発行地.

例 研究太郎(1995): 看護基礎科学入門, 23-52, 研究学会出版, 大阪.

③翻訳書

原著者名(原書の発行年次) / 訳者名(翻訳書の発行年次), 翻訳書の書名(版数), ページ数, 出版社名, 発行地.

例 Walker, L. O., & Avant, K. C. (2005) / 中木高夫, 川崎修一(2008), 看護における理論構築の方法, 77-79, 医学書院, 東京.

④ウェブページ

制作者名: ページタイトル, アドレス(URL), [検索日].

例 日本社会学会(2009): 日本社会学会ホームページ, <http://www.gakkain.jp/jss>, [検索日2009年2月2日].

(2016年2月3日修正)